



令和4年度 釜石支部会議

令和4年9月5日

参加形式：ZOOMによる
オンライン会議

参加者：5施設10名

次第

1. 開会・ご挨拶 (18:00～)
藤原 瀬津雄会長／大久保 訓副会長／高梨 信之
副会長／小笠原 康浩地域局長
2. 自己紹介（各施設紹介）
・顔合わせ・情報交換・近況報告など
3. 県士会の活動方針について
藤原瀬津雄会長から
4. 令和4年度の活動について
前年度までの振り返り
釜石支部動向調査について
5. 担当の配置について
（①地域包括ケア担当②障がい児担当③教育担当
④広報担当の役割 小笠原地域局長から）
 - ・副支部長
 - ・認知症担当
 - ・地域包括ケア担当
 - ・障がい児担当
 - ・教育担当
 - ・広報担当
6. 閉会（～19:00）



令和4年度 釜石支部会議

令和4年9月5日

参加形式：ZOOMによる

オンライン会議

参加者：5施設10名

令和4年度釜石支部会議は9月5日にオンラインにて開催致しました。釜石支部は、釜石市と大槌町の2市町からなり、現在は8施設17名の会員がおります。今回は、8施設中6施設から12名の参加となり、藤原会長と大久保副会長・高梨副会長、小笠原地域局長にもご出席いただきました。

釜石医療圏では、PT・OT・STから成る「釜石リハ士会」が震災後発足し連携をはかっておりましたが、近年コロナ渦の影響もあり皆さんで顔を合わせるのは久しぶりでした。

そこで、会議ではまずは自己紹介と、各施設の近況報告などしていただきました。新メンバーの入会や、会員の移動の状況や各施設のコロナ渦での状況等、情報共有が出来たと思います。

その後、高梨副会長から県士会の活動意義や近年の県士会の活動の特徴や活動方針についてお話を頂き、さらに、小笠原地域局長にも各担当の配置にあたり、役割の説明をしていただきました。分からないことばかりで、質問を沢山してしまいましたが、丁寧にお答え頂き、参加頂いた皆さんも県士会活動について、理解を深めて頂けたと思います。

私は、今年度から支部長を務めさせていただくことになり、会員の皆さんとまずは連絡を取りあうところからのスタートで会議を開催するにあたり、不安もありました。しかし会議当日は画面越しですが、参加頂いた皆さんにお会いできて大変うれしく、そして、皆様のご協力のおかげで無事に会議を終えることができ本当に感謝しております。今回をきっかけに少しずつ横のネットワークを強くし、会員皆さんで支えあう形を作り、地域の要望に応えられるように徐々に成長していければと思います。

釜石支部支部長

財津 睦美 氏

(釜石のぞみ病院)

